



石田学長から卒業証書・学位記を受ける金沢学院短大の卒業生代表 = 石川厚生年金会館

学院大・短大卒業式

金沢学院大学大学院の第七回学位記授与式、金沢学院大学の第十七回卒業証書・学位記授与式、金沢学院短期大学の第五十六回卒業証書・学位記授与式は三月十七日、金沢市の石川厚生年金会館で行われ、美術文化専攻科の三期生を含む合わせて五百四十三人が晴れの門出を迎

自分の将来に投資 惜しむな

お金であれ、時間であれ、努力であれ、将来にプラスになると思うことに積極的に投資せよ。出し惜しみはいけない。自分への投資を惜しみ、労を惜しみ、学ぶことや創造することを忘れてしまった人間は、進化はおろか退化してしまう。

分別のある行動を

学長武辞（抜粋）
科学技術の飛躍的發展は、我々の時間的・空間的活動範囲を大きく広げたが、いかなる世界が来ようとも、社会の規範に忠実に生き、自分自身の生命の灯火を灯し続け、特に人間らしい「分別有る行動をとる」ように諸君に訴えたい。

石田寛人学長が、短大、大学の各代表十二人に卒業証書、修了証書、学位記を授与しました。続いて、学業成績優秀者二十九人に対する学長褒賞を学科、学部、学部の代表五人に手渡ししました。世界学生柔道選手権3位の活躍をした山口麻梨菜さん（経営情報学部ネットワークビジネス学科）に学長表彰が贈られました。石田学長の式辞、飛田秀

新しい校歌を斉唱

えました。式では、学園創立六十周年を記念して制定された新しい校歌が、式典では初めて斉唱されました。



答辞を読む岡部さん



答辞を読む早川さん

一学校法人金沢学院理事長の告辞に続いて、大西節子短大同窓会長、下置宏子大学同窓会長が「過ちを改むるに憚ることなかれ。失敗を正すことは成長をもたらす大切な姿勢である」となどと激励しました。

答辞では、短大卒業生代表の早川枝里さんが「学びの心を忘れず、向上心を持ち続けたい」、大学卒業生代表の岡部綾乃さんは「古里金沢、そして日本を担う人材となり、未来を創っていききたい」と誓いました。学科、専攻科、大学院の証書・学位記および学長褒賞の各代表は次の皆さん。

- 卒業証書・学位記 山上佳織（生活学）竹田容子（食物栄養）西田香織（文）出口敬一（経営情報）六川啓太（文化財）
- 学長褒賞 向柴朋恵（生活学）谷内麻衣子（食物栄養）西田香織（文）出口敬一（経営情報）六川啓太（文化財）
- 野田（美工専攻）米澤順一（研究科）
- 石川由紀子（美工）飛田恵（情）六川啓太（文化財）岩野巨（美工専攻）米澤順一（研究科）
- 宅康至（産情）小林沙綾（ネット）
- 池田智子（日文）舟田めぐみ（国際）米谷直久（経情）安宅康至（産情）小林沙綾（ネット）
- 竹田容子（食物栄養）西田香織（文）出口敬一（経営情報）六川啓太（文化財）

食べることの大切さ再認識

北國健康生きが「支援事業で短大が公開講座」

北國新聞社の北國健康生きが「支援事業金沢学院プログラム第二回として三月十日、短期大学の公開講座「考えよう！食べる大切さ」が3号館で行われました。食物栄養学科に今春入学予定の高校生や中高年など百人を超える聴講者が、嘔むことの大切さ、生活習慣病、メタボリック症候群、食育、食品の機能と安全性、



健康生きが「支援事業」の公開講座

加賀野菜についての各講演に耳を傾け、食べることの大切さを再認識しました。

短大が初のFD研修会

金沢学院短期大学の第一回FD研修会「写真左」は自己点検評価活動の一環として三月十四日、5号館で行われ、教育方法や授業の改善について教員が意見交換しました。文科省は教員の「組織的研修」を大学・



短大に義務付ける方針を固めています。金沢学院大学のFD研修会は三月二十六日に引き続き実施されます。

岡田君が日春展初入選

日本画の第四十二回日春展で、金沢学院大学美術文芸学部二年、岡田遊虎君の「古刀」が初入選となりました。本学関係では、平木孝志金沢学院短期大学教授が再入選し、中町力助教授が会員出品しています。日春展は三月二十八日から四月二日まで、東京の松屋銀座で開かれています。

文学部の2機関誌刊行

金沢学院大学文学部日本文学科の機関誌「金沢日本文学」と国際文化学科の「金沢コミュニケーション」がこのほど刊行され、同学部の新年度入学生、在学生らに配布されます。

発行・広報室